

2023年10月12日

報道資料

一般社団法人電子情報技術産業協会

Green x Digital コンソーシアム、CEATEC 2023 パートナーズパークへ出展 デジタル技術を活用し脱炭素に貢献するソリューション事例を紹介

Green x Digital Consortium

ブース展示 初出展!

Green x Digitalによるカーボンニュートラルの実現

コンソーシアムの活動成果や、
会員企業が持つ脱炭素ソリューション事例を紹介!!

幕張メッセ
Hall6
パートナーズ
パーク内
P014

展示協力

アイビーコア研究所、アスエネ、NTTデータグループ、
関西電力、クラウドイオ、大日本印刷、chaintope、
デロイトトーマツコンサルティング、東海エレクトロニクス、
野村総合研究所、日立製作所、三菱電機、ロジスティード

オンラインコンファレンス

CO₂排出量見える化の実現に向けた取り組み
- 業界横断ルールの解説/企業間CO₂データ交換の実証実験 -

見える化WGが策定したCO₂データ算定・共有の方法論、
技術仕様の解説 及び 実証成果の発表

NEC
稲垣 孝一 氏

みずほサーチ&テクノロジーズ
柴田 昌彦 氏

富士通
永宮 卓也 氏

富士通
塩入 裕太 氏

CEATEC 2023

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：代表理事/会長 小島 啓二 株式会社日立製作所 代表執行役 執行役社長 兼 CEO）が事務局を務める Green x Digital コンソーシアム（読み：グリーン カケル デジタル コンソーシアム）は、10月17日（火）から20日（金）までの4日間、幕張メッセにて開催する「CEATEC 2023」のパートナーズパークエリアに出展することを発表しました。展示ブース内では、「CO₂データの見える化」を中心とする同コンソーシアムの活動成果やコンソーシアム会員企業が持つ脱炭素ソリューションの事例を紹介します。また、CEATEC 2023の公式 Web サイトでは同コンソーシアムの見える化ワーキンググループが主催するオンライン限定セッションも公開中です（～10月31日まで公開）。展示と連動する形で”Green x Digital”の最新動向を発信します。

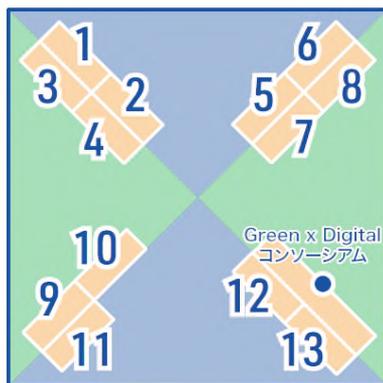
■CEATEC 2023 出展概要

主 催 Green x Digital コンソーシアム

内 容 デジタル技術を活用し脱炭素に貢献するソリューション事例を紹介

場 所 幕張メッセ HALL6 パートナーズパーク内（ブース番号：P014）

ブース参加企業および出展テーマ



▲ブース内マップ

(番号は右表のNo. と一致)

No.	出展社名	出展内容
1	株式会社日立製作所	サプライチェーンにおける脱炭素推進を支援
2	アスエネ株式会社	CO2排出量見える化・削減・報告
3	株式会社野村総合研究所	NRI-CTSカーボン・トレーシング・システム
4	株式会社chaintope	地域でのCO2削減証書発行と検証
5	デロイトトーマツコンサルティング合同会社	GXの実現による新たな企業価値の共創
6	株式会社NTTデータグループ	企業別、製品別GHG排出量の可視化
7	三菱電機株式会社	GHG管理クラウドサービス c o c o n o
8	ロジスティード株式会社	EcoLogiPortal 迅速なサプライチェーン領域のCO2把握
9	大日本印刷株式会社	DNPの環境ビジネス
10	株式会社クラウドイオ	気候変動の事業リスクをAIが予測
11	東海エレクトロニクス株式会社	バイオマスとセンシング・IoT技術
12	株式会社アイビークア研究所	直流PoD(直流エッジデータセンタ)
13	関西電力株式会社	複数拠点のAI最適制御ソリューション

■CEATEC 2023 オンライン限定セッション

タイトル

CO₂排出量見える化の実現に向けた取り組み・業界横断ルールの解説／企業間 CO₂データ交換の実証実験・

主催 Green x Digital コンソーシアム 見える化ワーキンググループ

概要

「2050年カーボンニュートラル」の達成には産業界全体が一丸となることが重要であり、あらゆる業界・業種をつなぐデジタルの社会実装に期待が寄せられています。サプライチェーン CO₂排出量の見える化を掲げる Green x Digital コンソーシアム 見える化 WG は、排出量算定・共有の方法論と技術仕様を 2023 年に公開、それらに基づく実証実験に成功しました。本セッションではその成果を紐解きながら、産業界の今後について考えます。

プログラムおよび登壇者

1. サプライチェーン CO₂排出量見える化の実現に向けて

稲垣 孝一 氏

Green x Digital コンソーシアム 見える化ワーキンググループ 主査

日本電気株式会社 環境・品質統括部 シニアプロフェッショナル

2. CO₂排出量見える化の方法論：「CO₂可視化フレームワーク」を読む

柴田 昌彦 氏

Green x Digital コンソーシアム 見える化ワーキンググループ 副主査

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 サステナビリティコンサルティング第2部 次長

3. CO₂排出量見える化の仕様：「データ連携のための技術仕様」を読む

永宮 卓也 氏

Green x Digital コンソーシアム 見える化ワーキンググループ 副主査

富士通株式会社 総務本部 環境統括部 環境デザイン部 部長

4. 「見える化」の社会実装へ - 企業間 CO₂データ交換の実証実験 -

塩入 裕太 氏

Green x Digital コンソーシアム 実証フェーズ2 プロジェクトマネージャー

富士通株式会社 クロスインダストリー事業本部 Sustainable Transformation 事業部 シニアマネージャー

視 聴

<https://www.ceatec.com/2023/ja/conference/detail.html?id=2204>

※配信期間：2023年10月2日(月)～31日(火)

※セッションの視聴には CEATEC 2023 の来場登録（ログイン）が必要となります

■ Green x Digital コンソーシアム

環境関連分野のデジタル化や新たなビジネスモデルの創出などの取り組みを通じて、2050年カーボンニュートラルの実現に寄与することを目的に、2021年10月に設立。サプライチェーンにおけるCO₂排出量の可視化や再生可能エネルギー導入などをテーマに会員間の共創促進を図る活動を展開する。座長は越塚 登（東京大学大学院 情報学環 教授）。会員数は165社（2023年10月1日時点）。

Web サイト：<https://www.gxdc.jp/>

【本件に関する企業関係者からのお問合せ先】

Green x Digital コンソーシアム 事務局

（一般社団法人電子情報技術産業協会 事業戦略本部 グリーンイノベーション部）

E-mail：green_digital@jeita.or.jp